

# 校長室の窓

富谷市立明石台小学校  
校長室だより NO.5  
令和6年1月19日(金)発行

## 冬休み明け朝会講話より

1月1日に大きな地震のニュースがありました。おうちの方から東日本大震災の話聞いた人も多かったと思います。このように安心して学校で生活できることに感謝して、令和6年を過ごしていきたいと思います。

さて、冬休み前にお話をしたように、今年頑張ってほしいことを2点お話しします。

一点目は「自分で考え、正しい行動をする」ことです。皆さんに質問です。心の中で「はい」か「いいえ」で答えてください。

- 1 自分がしたいことは、楽しければやってもよいと思う。
- 2 友達がやっていたら、同じことをやってもよいと思う。
- 3 怒られないように嘘をついてもよいと思う。

皆さんには良いことと悪いことを考える力があります。その力を正しく使い、行動する前に、それはやってもよいことか悪いことか、しっかりと考えましょう。たまに「〇〇さんがやっていたから」と先生に注意された後に言う人がいます。先生に教えることはかまいませんが、だからと言ってそれがやってもいいという理由にはなりません。自分で考えてから行動することが大切です。このことを難しい言葉で「判断力」と言います。自分にとって損か得かではなく、良いか悪いかで判断し、ぜひ良いことを自分で選んで行動する明石台小学校の子供を目指していきましょう。

二点目は「学校にふさわしい態度で生活をする」ことです。難しいことはありません。一つ目は学校の約束を守ること、二つ目は先生や目上の人には丁寧な言葉づかいで話すこと、三つ目は学校にいるときは自分のことよりみんなのことを先に考えて行動することです。学校では、家で生活するのとは違う態度が必要です。家でおうちの方のようにわがままを言っていては、周りの人が嫌な思いをします。みんなが少しずつ気を付けたり我慢したりすることで明石台小学校の子供や先生方みんなが気持ちよく生活ができます。難しい言葉で「公共心」と言います。自分だけではなく、周りの人のことも大切にして、みんなが楽しく学校で生活できるようにしていきましょう。

「自分で考え、正しい行動をする」「学校にふさわしい態度で生活をする」の二つを頑張ることで、明石台小学校はもっともっとみんなが笑顔で過ごせる学校になります。大切なのは意識をして今の自分より成長させていくことです。今の自分より少しでも上のレベルを目指し、勉強と併せて心も成長させ卒業や進級の準備をしていきましょう。

1月9日の午後に職員で今年度の教育活動反省会を行いました。教員の働き方改革がニュースで報じられる中、本当に大切なことに重きを置いて教育活動を実践していくことが必要だと感じています。基礎・基本を定着させることはもちろんですが、学校ならではの学びとは「他者と協同していくこと」ではないかと考えます。授業での学び合いはもちろんのこと、級友ができるように応援したり、できるようになったことを共に喜び合ったりする姿は見ていても本当にうれしいものです。そのような姿を認め、励ましていきたいと思っています。

# 1月の様子から



日々の出来事については明石台小学校のホームページ「学校ブログ」にも掲載しています。明石台小HP



1年生は初めての書きぞめ練習を頑張っています。お手本を見ながら、一文字一文字丁寧に集中して書いていました。



2年生は生活科で自分の成長を振り返っています。できるようになったことをタブレットでまとめています。



3年生は理科で初めての本格的な実験キットを使った学習に入りました。豆電球と電池を組み合わせると明かりが点灯すると大喜びでした。



4年生は木版画の制作に取り組んでいます。彫刻刀を使って彫る時は、手の位置や彫る向きが大切です。注意深く彫り進めています。



5年生は2クラスともWeb 縄跳びに挑戦中です。朝の準備が終わると、校庭に長縄跳びのリズミカルな音が響きます。



6年生は「薬物乱用防止教室」がありました。学校薬剤師さんから薬物の恐ろしさについてお話していただきました。